

教育・学校心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》冨家 直明 (心理科学部 tomiie@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

将来のスクールカウンセラー等として、幼児児童生徒、保護者及び教職員に対する相談・援助などを行うことにより、不登校・いじめ、暴力行為、などの諸課題への未然防止、早期発見、事後対応、障害を持つ児童生徒への支援、心理検査、学校への助言、保護者との連携や支援等の必要な対応が行うことができることを目指す上で基本となる教育心理学を中心とした内容の講義を行う。

【学修目標】

- 自律・発展的な学修態度を養う。
- 教育に関する心理学を理解する。
- 教育現場において生じる問題及び背景について理解する。
- 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援方法について理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

公認心理師・スクールカウンセラー

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床実務経験（スクールカウンセラー）を反映させた教育を行う。